普及活動情勢報告（令和４年５月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

データ駆動型農業のおすすめ　～SAWACHI の有効活用～

SAWACHI の機能について
説明する普及指導員

4月14～21日、JA土佐くろしお管内の3集出荷場でミョウガ部会が目慣らし会を開催し、194人が参加しました。

当課は、データ駆動型農業の実践支援として「SAWACHI」の機能紹介と加入促進を行いました。

参加者からは、「営農気象情報は、他のアプリより使いやすそう」「ハウス内環境データもスマホで見たい」などの意見が聞かれ、その場で申請書に記入する生産者も見られました。

今後は、巡回指導での個別推進や、実証ほ場での活用支援を関係機関とともに取り組んでいきます。

津野山地域の令和４年度活動計画の検討　～津野山地域営農連絡協議会全体会を開催～

真剣に協議する協議会員

4月27日、JA高知県津野山営農経済センターにおいて、梼原町、津野町、JA、当課の職員ら計18人が出席し、津野山地域営農連絡協議会全体会を開催しました。

会では、本年度に実施する園芸振興や販売促進など13プロジェクト計画について議決しました。

また、当課から果樹振興計画、津野町から津野茶振興計画の策定について説明しました。津野茶振興計画は、6月から生産者の実態や意向を聞き取り、10月を目途に策定する予定です。

当課は今後も関係機関と連携しながら、津野山地域の農業振興を全力で進めていきます。

水稲苗の更なる品質向上に向けて　～育苗状況の確認・協議～

「さあ！田植の季節だ」
苗を引取りに来た農家

５月２日、営農センター四万十株式会社の育苗ハウスで、JA 高知県津野山営農経済センター、当課及び県専門技術員が、津野山営農経済センター管内で使用される苗の育苗状況を確認しました。

健苗育成のために、専門技術員と当課職員から、は種後出芽長を約 1cm に抑えるよう説明し、関係者で再認識しました。また、同じ生育ステージの苗をまとめてハウス内に置き、温度管理をすることになりました。

当課は今後も津野山営農経済センターの健苗育成に向けた管理技術向上への取組を支援していきます。

自走式茶園管理機による摘採　～新規就農者の指導～

自走式茶園管理機で一番茶を摘採する新規就農者

5月6日、津野町入道地区の茶園で昨年就農した若手農家1人に対し、自走式茶園管理機による一番茶の摘採指導を行いました。

実際に自走式茶園管理機の摘採面の高さを変えながら摘採し、摘んだ茶葉に古葉や枝条が混入しないか等の状態を見て、摘採面の高さを調整しました。

新規就農者から「古葉の混入がほぼなく質の良い茶葉になった」「これを製茶し、販売することが楽しみ」などの感想がありました。

当課は今後も新規就農者の技術向上を支援していきます。また、令和4年度に津野茶振興計画を策定し、産地の維持発展に取り組んでいきます。

津野山地域での新たな品目の産地化をめざして！～津野山雨よけピーマン現地検討会～

説明する当課職員
（左から３人目）

5月11日、梼原町の雨よけピーマン栽培ハウスで、雨よけピーマン現地検討会（9人参加）が開催されました。

当課は、ハウス内の生育状況を踏まえて、これからの基本的な栽培管理（温度管理、水管理、誘引作業、病害虫防除など）について説明しました。

参加者から、「主枝の誘引や基本的な管理についてよく分かった」「品目転換により初めてピーマンを栽培するので、これからも指導をよろしくお願いしたい」といった声がありました。

今後は、津野山地域の新たな品目として定着を目指し、JAと連携した巡回等により指導していきます。

新規就農に向けて　～研修生と関係機関の面談～

説明する普及指導員

5月11、12日、県農業担い手育成センター及び津野町役場で、研修生計4人に対し、関係機関が研修状況や就農準備について面談を行いました。

当課は、経営開始時に必要な資金等をより具体的に認識してもらうため、近年の実績から試算した、ハウスの整備費用、栽培にかかる経費、キャッシュフロー等を説明しました。

研修生から、「初期に必要な金額が具体的に分かった」「ハウス整備の流れが知りたい」といった声がありました。

今後も、関係機関と連携しながら定期的に面談等を行い、スムーズな研修実施や事業活用等を支援していきます。

JA 土佐くろしお管内の産地振興について　～年間活動と地域課題を関係機関とともに～

年間計画を協議する会員

5月20日にJA土佐くろしお管内農業振興連絡協議会が開催され、JA、3市町、振興センターの職員ら30人が出席して、産地振興に向けた活動方針、年間計画、到達目標等を協議しました。

各プロジェクトチームの計画（担い手の確保・育成、労働力確保、農福連携、販売促進、主要9品目）を承認、JAのミョウガ生産拡大プロジェクトの進捗報告の後、当課からSAWACHIの機能紹介と加入促進のための情報を提供し、新規就農支援の課題などを話し合いました。

関係機関から、3市町に跨がる課題を共有する場として活用していきたいとの声もあり、当課は目標達成へ連携活動を進めていきます。